

仙北市の財政状況.....	4 ~ 5
人事行政運営状況.....	6 ~ 7
第 2 回仙北市産業祭.....	8
保育園入園申込みのご案内.....	2 0
幼稚園入園申込みのご案内.....	2 1

秋田わか杉国体に向けて、

まごころメニュー 調理講習会開催

(2 ページに関連記事掲載)





市民の手で
成功させよう!



秋田わか杉国体

君のハートよ位置につけ 2007 第62回国民体育大会



軟式野球(成年男子)
9/30 ▶ 10/3



カヌー
スラローム・
(ワイルドウォーター)
9/30 ▶ 10/3



冬季大会スキー競技会
スキー(アルペン)
2/10 ▶ 13



馬術
10/5 ▶ 9



デモス競技
デュアスロン
9/2

秋田わか杉国体 仙北市実行委員会

冬季大会開催まであと **71日** ◇スキー競技(アルペン) (12月1日現在)
本大会開催まであと **302日** ◇カヌー・軟式野球・馬術競技 ◇デュアスロン(デモンストレーション)

秋田わか杉国体開催に向けて

自衛隊との覚書交換式

第62回国民体育大会・秋田わか杉国体の冬季大会、本大会においてご協力いただく陸上自衛隊第21普通科連隊と秋田わか杉国体仙北市実行委員会との覚書交換式が、11月13日、秋田市市内の陸上自衛隊秋田駐屯地で行われました。

交換式には、陸上自衛隊側から第21普通科連隊長の湯浅一等陸佐が、仙北市からは、実行委員会会長として石黒市長が出席し、覚書に署名、押印し、互いに交換した後、湯浅隊長と市長が握手を交わしました。

石黒市長が「これまでのご協力を感謝申し上げますとともに、国体の成功に向け今後ともご協力をお願いします」と、あいさつすると、「期間中は、選手が安全に、競技に全力で打ち込めるよう一生懸命支援します」と、湯浅隊長が応えました。

冬季大会では、平成19年2月5日から同14日まで、アルペン競技のコース整備補助、旗門員補助、傷病者の救護補助、有線通信網の構成、保守及び撤去等の業務と、本大会では、平成19年9月28日から10月3日まで、カヌー競技において有線及び無線通信網の構成、保守及び撤去等の業務でご協力をいただくことになっています。

なお、今年7月22・23日の2日間、秋田わか杉国体に向けたカヌー競技のリハーサル大会でも、陸上自衛隊第21普通科連隊の皆さんから通信業務のご協力をいただき、競技運営も順調に進みました。



覚書を交換し、握手する湯浅隊長(左)と石黒市長

まごころメニュー調理講習会

秋田わか杉国体で訪れる選手をまごころのこもった料理でお迎えしていただくこと、11月1日と7日の2回にわたり、まごころメニュー調理講習会が、田沢湖健康増進センターで行われました。



これは、ホテルやペンションなどの宿泊施設を対象にした選手向けメニューの調理講習会で、社団法人秋田県栄養士会のメンバーから指導をいただいて実施しました。

1日には8施設、7日には16施設の調理担当者が参加し、栄養士会が作成した「まごころメニュー応援レシピ」を参考に、栄養のバランスを考えたほか、県内の特産物を利用し秋田らしさを味わってもらえるメニューを調理しました。

参加者は、チキンのしょっつるホイイル焼き、白菜の蟹あかけ、煮込みシーフードハンバーグなど、ボリュームのある夕食のメニューを調理し、参加者全員で試食しました。

----- 仙北市で開催される競技を紹介します -----

軟式野球競技について

大正8年(1919)に神戸市にあったゴム関連企業が“手軽”かつ“安全”に野球を楽しむ軟式野球ボールを世界で初めて市販し、これをきっかけに少年野球人口が増加しました。昭和に入ると本格的な一般社会人を対象とした日本軟式野球協会設立や軟式野球大会開催など、市民スポーツとして定着。やがて終戦を迎え昭和21年(1946)、東京都軟式野球連盟が中心となり各都道府県や文部省(現・文部科学省)、日本体育協会などの協賛で全日本軟式野球連盟設立。この年から行われた天皇杯全日本軟式野球大会が後の国民体育大会軟式野球競技の始まりです。



天皇賜杯

来年開催される秋田わか杉国体では、天皇杯同様、国内最高峰の大会と位置付けられ、一般A(39歳以下で、開催地の代表チームを除く各出場チームは、都道府県予選、地区予選を勝ち抜き国体の出場資格を得、天皇杯全日本軟式野球大会と並んで、全国トップレベルが一同に会する競技)、一般B(39歳以下で、開催地の代表チームを除く各出場チームは、都道府県予選、地区予選を勝ち抜き国体の出場資格を得る)、成年(40歳以上で、開催地の代表チームを除く各出場チームは、都道府県予選、地区予選を勝ち抜き国体の出場資格を得る)の3種別が、それぞれ大仙市(一般A、成年)・横手市(一般B)・仙北市(成年)の三市で開催されます。



兵庫県三田市立城山公園野球場の開始式



兵庫県国体軟式野球競技監督会議

先日、兵庫県で開催された“のじぎく兵庫国体”では、本県代表チームは出場できませんでしたが、上位入賞すると高得点が望めることから、来年に向け秋田県選抜の強化チームが落合野球場などで連日練習に取り組んでいます。

本大会もあと1年を切り、地域の特色と創意工夫を凝らした秋田らしい大会を実現するため、「秋田の心」をキーワードに大会の成功を目指します。

市民の皆さんも“一人一役運動”で国体に参加してみませんか。

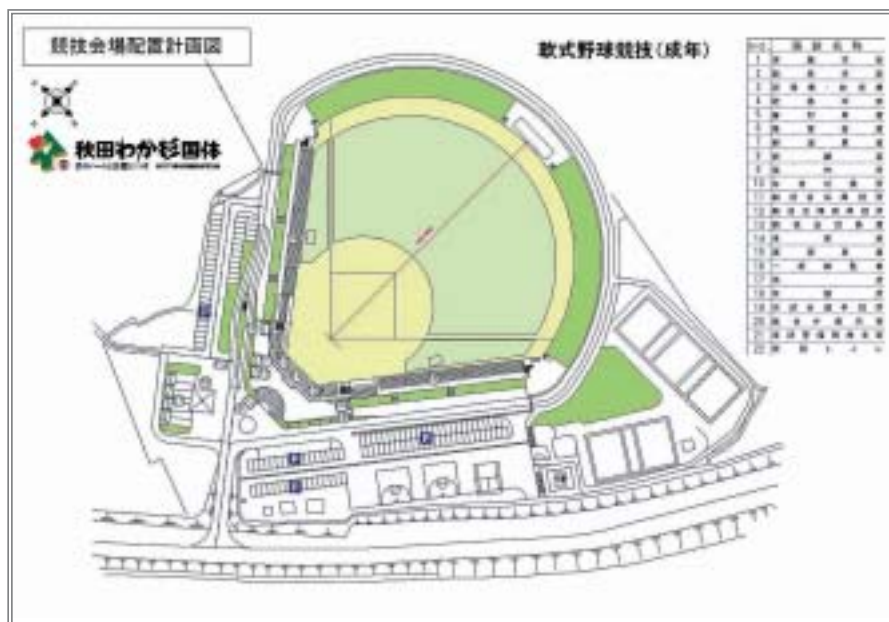
秋田わか杉国体 軟式野球日程



仙北市で行われる軟式野球競技(成年)は平成19年9月30日(日)から10月3日(水)まで4日間開催されます。

なお、リハーサル大会に代わる県民体育大会は、平成19年7月7日(土)・8日(日)に開催を予定しています。

競技会場配置図(落合運動公園落合野球場)



仙北市の財政状況

仙北市財政状況の作成及び公表に関する条例(平成17年条例第43号)第2条の規定に基づき、平成18年4月1日から平成18年9月30日までの期間における仙北市の財政状況を次のとおり公表します。

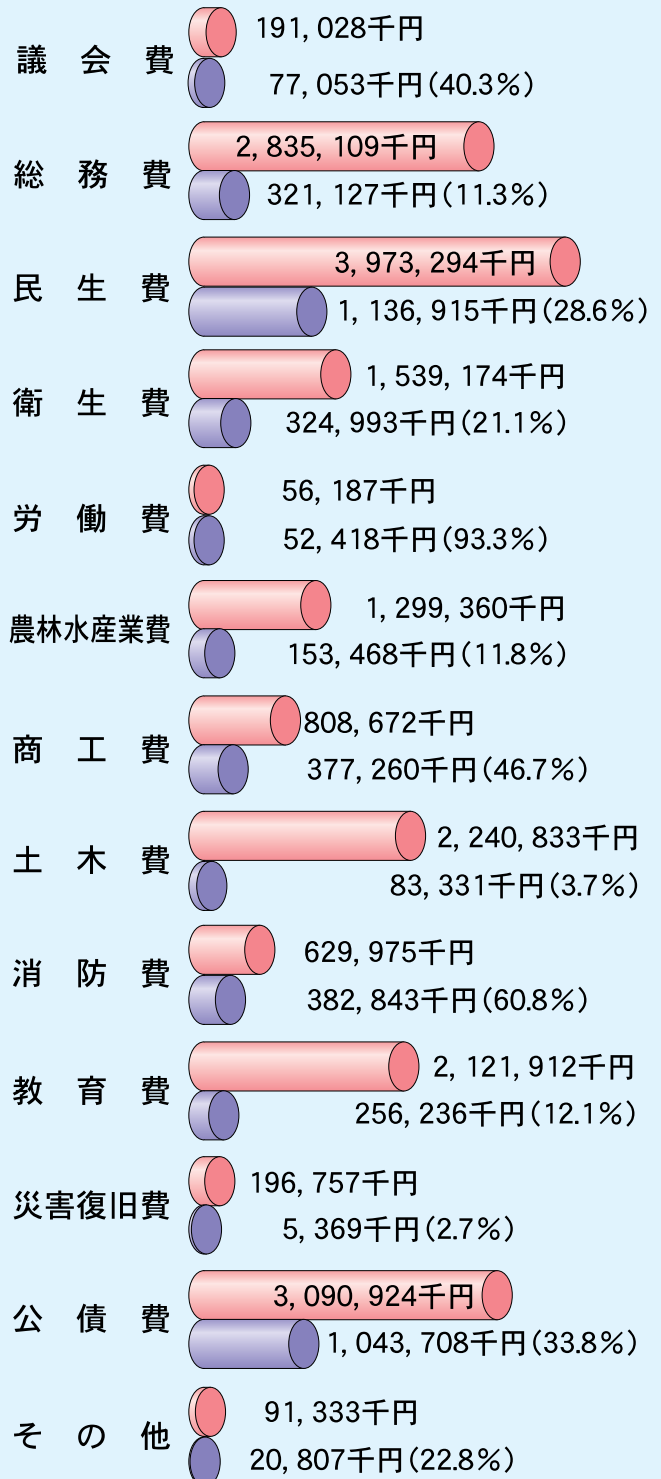
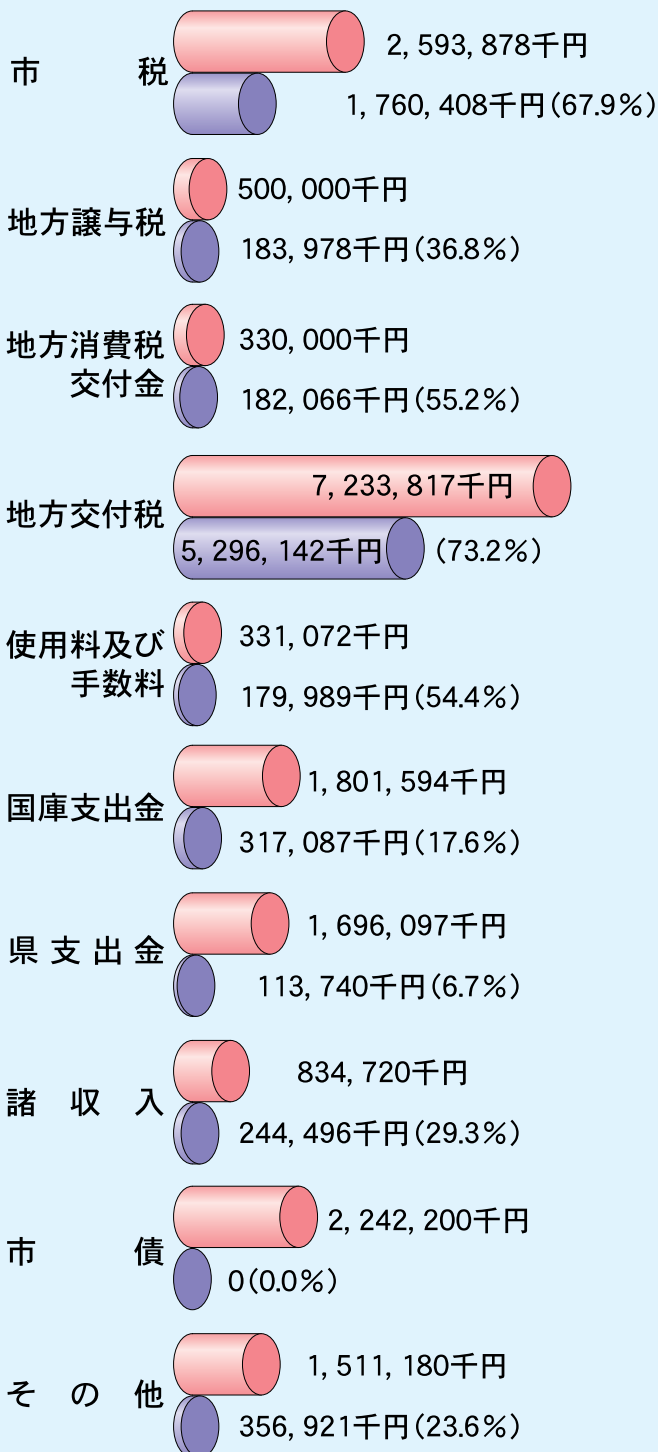
平成18年12月1日 仙北市長 石黒直次

◆一般会計の執行状況(平成18年9月30日現在)◆

■ 予算現額
■ 執行済額(執行率)

《歳入》 予算現額 19,074,558千円
 収入済額 8,634,827千円 (45.3%)

《歳出》 予算現額 19,074,558千円
 支出済額 4,235,528千円 (22.2%)



◆特別会計の執行状況◆

(単位:千円)

会 計 名	予算現計	収入済額	支出済額	収支差引額
集中管理特別会計	5,110,003	238	2,506,633	2,506,395
下水道事業特別会計	1,064,105	67,692	240,679	172,987
集落排水事業特別会計	601,382	15,354	151,313	135,959
浄化槽事業特別会計	116,480	7,581	15,652	8,071
国民健康保険特別会計(事業勘定)	3,562,018	1,306,284	1,345,496	39,212
国民健康保険特別会計(田沢診療施設勘定)	31,700	31,725	7,822	23,903
国民健康保険特別会計(神代診療施設勘定)	106,100	123,293	18,887	104,406
老人保健医療特別会計	4,063,010	1,612,684	1,661,190	48,506
介護保険特別会計	956,107	349,404	160,302	189,102
生保内財産区特別会計	105,706	52,254	31,603	20,651
田沢財産区特別会計	26,900	13,697	5,246	8,451
雲沢財産区特別会計	2,538	1,463	1,208	255
簡易水道事業特別会計	163,636	25,772	48,227	22,455
特別会計合計	15,909,685	3,607,441	6,194,258	2,586,817

◆企業会計の執行状況◆

(単位:千円)

会 計 名		現計予算	収入済額	収入率		現計予算	支出済額	執行率
病院事業会計(角館)	収益的収入	4,075,888	1,920,196	47.1%	収益的支出	4,075,888	2,112,507	51.8%
	資本的収入	68,002	20,000	29.4%	資本的支出	179,431	40,859	22.8%
病院事業会計(田沢湖)	収益的収入	1,214,180	488,400	40.2%	収益的支出	1,214,180	544,917	44.9%
	資本的収入	704	702	99.7%	資本的支出	21,054	0	0.0%
病院事業会計(合計)	収益的収入	5,290,068	2,408,596	45.5%	収益的支出	5,290,068	2,657,424	50.2%
	資本的収入	68,706	20,702	30.1%	資本的支出	200,485	40,859	20.4%
温泉事業会計	収益的収入	35,362	17,837	50.4%	収益的支出	35,362	14,921	42.2%
	資本的収入	98,000	0	0.0%	資本的支出	98,081	0	0.0%
水道事業会計	収益的収入	402,205	185,573	46.1%	収益的支出	402,205	148,483	36.9%
	資本的収入	142,507	0	0.0%	資本的支出	263,070	43,807	16.7%

◆住民の負担の状況◆

区 分	市民税(個人)	固定資産税	軽自動車税	都市計画税	国民健康保険税
調定額(現年課税分)	612,437千円	1,416,122千円	62,990千円	43,891千円	1,041,974千円
納税義務者数	13,533人	14,109人	14,721人	3,102人	6,891人
1人当たりの税負担額	45,255円	100,370円	4,279円	14,149円	151,208円

◆市有財産の状況◆

区 分	期末現在高
土地	宅地 3,788,196㎡
	山林 36,200,026㎡
	その他 31,914,044㎡
建物	207,614㎡
有価証券	406,298千円
出資金	147,234千円
物品	1,851台
債権	336,410千円
基金	2,293,349千円

◆地方債の状況◆

(単位:千円)

会 計 名	前期末現在高	上期償還額	期末現在高
一般会計	28,014,894	863,754	27,151,140
下水道事業特別会計	6,221,262	150,818	6,070,444
集落排水事業特別会計	3,792,967	88,953	3,704,014
浄化槽事業特別会計	191,648	170	191,478
国保特別会計(事業勘定)	33,805	5,339	28,466
国保特別会計(神代診療施設勘定)	128,496	2,325	126,171
介護保険特別会計	593,003	14,721	578,282
簡易水道事業特別会計	1,526,520	23,499	1,503,021
合 計	40,502,595	1,149,579	39,353,016

人事行政の運営等の状況

「仙北市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、仙北市職員の給与や職員数の状況等について公表します。

※仙北市は、平成17年9月20日に旧田沢湖町、旧角館町、旧西木村が合併したので、その内容について特に指定のないものは、それ以降のものとなります。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(平成17年9月20日～平成18年4月1日)

H17.9.20現在 職員数	退職者数	採用者数	H18.4.1現在 職員数
947人	28人	15人	934人

※採用者については、市立角館総合病院13人、市立田沢湖病院2人です。

2. 部門別職員の状況 (平成18年4月1日現在)

部 門	職員数		増減数
	H17.9.20現在	H18.4.1現在	
一般行政部門	430人	414人	16人
特別行政部門(教育)	79人	76人	3人
公営企業等部門 (病院、水道等)	438人	444人	6人
合計	947人	934人	13人

3. 人件費の状況 (平成17年度普通会計決算統計より)

住民基本台帳人口(H18.3.31現在)	32,330人
歳出額(A)	18,457,458千円
人件費(B)	4,170,945千円
人件費率(B/A)	22.6%
平成16年度の人件費率	20.9%

4. 職員の平均年齢、平均給料月額及び

平均給与月額等の状況 (平成18年4月1日現在)

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	44歳11月	321,500円	371,000円
技能労務職	44歳 4月	262,700円	288,400円

※「平均給料月額」とは、4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均です。

※「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものです。

5. 職員の初任給の状況 (平成18年4月1日現在)

区 分	初任給	2年後の給料
一般行政職(大学卒)	170,200円	182,200円
一般行政職(高校卒)	138,400円	146,700円

6. 一般行政職の級別職員数の状況

(平成18年4月1日現在)

区分	標準的職務内容	職員数	構成比
7級	部長等	9人	2.4%
6級	次長等	5人	1.4%
5級	課長等	51人	13.8%
4級	課長補佐等	57人	15.4%
3級	係長、主査等	134人	36.3%
2級	主任	43人	11.7%
1級	主事	70人	19.0%
計		369人	100.0%

7. 諸手当の状況

① 期末・勤勉手当

(平成18年4月1日現在)

区 分	6月支給	12月支給	合 計
期末手当	1.4月分	1.6月分	3.0月分
勤勉手当	0.725月分	0.725月分	1.45月分

※職務の級により加算措置があります。

② 退職手当

(平成18年4月1日現在)

区 分	退 職 事 由		
	自己都合	推奨・定年	
支給割合	勤続20年	21.00月分	27.30月分
	勤続25年	33.75月分	42.12月分
	勤続30年	47.50月分	59.28月分
最高限度額		59.28月分	59.28月分
一般行政職の1人当たり平均支給額 (H17.9.20～H18.3.31)		23,088千円	

③扶養・通勤・住居手当 (平成18年4月1日現在)

手当名	区 分	支 給 額
扶養手当	配偶者	13 000円
	配偶者無で扶養1人目	11 000円
	配偶者有(非扶養)で扶養1人目	6 500円
	配偶者以外の扶養2人まで1人につき	6 000円
	その他の者	5 000円
	16歳から22歳までの子1人につき	5 000円加算
通勤手当	交通機関利用	限度額 55 000円
	自動車等利用	限度額 24 500円
住居手当	借家	限度額 27 000円
	持家(新築または購入の日から5年)	2 500円
管理職手当	部長級	給料月額8%
	次長級	給料月額6%
	課長級	給料月額5%

8.特別職の報酬等の状況 (平成18年5月1日現在)

区 分	給料(報酬)月額	期末手当
給料	市長	6月期 1 6月分
	助 役	
報酬	議 長	12月期 1 7月分
	副議長	計 3 3月分
	議 員	

9. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

①勤務時間

1週間の 正規の 勤務時間	1日の 正規の 勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間	休憩時間
40時間	8時間	8時30分	17時15分	45分間	30分間

※変則的な勤務を要しない勤務時間です。

②主な特別休暇

休暇の種類	内 容
ボランティア休暇	5日以内
結婚休暇	連続する5日以内
出産休暇	産前8週および産後8週
配偶者出産休暇	妻の出産の付添(2日以内)
子の看護等休暇	就学前の子の看護(5日以内)
服忌休暇	親族区分により最高で7日
夏季休暇	連続する5日以内

③年次有給休暇の取得状況

(平成17年1月1日～平成17年12月31日まで)

総付与日数	総取得日数	全対象職員数	平均取得日数	消化率
13 274日	3 497 8日	344人	10.2日	26.4%

④育児休業等の状況 (平成17年度取得者)

区 分	育児休業	介護休暇
男性職員	0人	0人
女性職員	6人	2人
計	6人	2人

10. 職員の分限及び懲戒処分状況

①分限処分者数 (平成17年度)

降任	免職	休職	降格	計
0人	0人	0人	0人	0人

②懲戒処分状況 (平成17年度)

戒告	減給	停職	免職	計
0人	1人	0人	0人	1人

11. 職員の研修の状況

(平成17年9月20日～平成18年3月31日)

受講職員数	28人
-------	-----

※秋田県自治研修所、全国市町村国際文化研修所等が実施する新規採用研修、一般研修、実務研修、専門研修等です。

12. 職員の福祉及び利益の保護の状況

(平成17年9月20日～平成18年3月31日)

①健康診断の実績

区 分	受信者数
定期健康診断	8人
人間ドック	22人
脳ドック	24人

②公務災害の発生状況

区 分	発生件数	
	傷病	死亡
公務災害	2件	0件
通勤災害	1件	0件

※定期健康診断については、ほとんどの職員が合併前に受診しています。

③財団法人秋田県市町村職員互助会への加入状況

仙北市では、地方公務員法第42条における福利厚生制度を実施するため、財団法人秋田県市町村職員互助会へ加入しています。平成17年度における仙北市の状況は次のとおりです。(平成17年9月20日～平成18年3月31日)

職 員 数		942人
職員掛金	掛金	42 477 016円
	掛金率	給料月額×18 / 1 000
市負担金	負担金	35 538 327円
	負担金率	給料月額×14.5 / 1 000
主な事業内容		給付事業(人間ドック助成、各種慶弔給付)、貸付事業、研修会・講演会の開催

第2回 仙北市産業祭

10月28日、29日の2日間、神代市民体育館を主会場に、第2回仙北市産業祭が開催され、多くの方々が訪れました。

農林産物等品評会審査の結果、一等賞16点、二等賞18点、三等賞26点の出品物が入賞され、受賞者の皆さんには、賞状や記念品が手渡されました。

体育館では、入賞した出品物を含む農林産物等の展示が行われ、農家の皆さんが丹精込めて育てた農産物などが並べられたほか、あきたこまちの新米がプレゼントされる米消費拡大運動、農業に関する相談コーナーが設けられました。

一方、屋外会場では餅つきやそば打ち体験、商工会出店コーナーやJ A秋田おばこ田沢湖町支所野菜部会などが出店。新鮮な野菜などが販売され、会場は買い求める人で賑わいました。



また、就業改善センターでは、特産品料理コンクールの展示や大曲仙北学校給食協議会栄養管理部会による、ふれあいの学校給食のコーナーが設けられました。



農林産物等品評会特別賞・一等賞受賞者

は一等賞・敬称略()内は集落名

第1部 水稻・豆类・雑穀(出品18点)

秋田県知事賞 ▶ 株大豆草彌工(田沢湖神代中央通)

第2部 特用林産物・果実・苗木・花き(出品26点)

仙北東森林組合代表理事組合長賞 ▶ 椎茸青柳忠明(角館町大畑)

第3部 野菜・いも類(出品405点)

秋田県知事賞 ▶ キャベツ小林信一(角館町高屋上)、ほうれん草佐藤功(西木町左通) 秋田県農業協同組合中央会長賞 ▶ 山の芋藤川智裕(田沢湖中間)、白菜高橋富子(角館町竹市)、ほうれん草田本熊夫(西木町鷺ヶ台) 仙北市長賞 ▶ 大根青柳良信(角館町大畑) 仙北市議会議長賞 ▶ ゴボウ千田光琉(田沢湖谷地村) 秋田おばこ農業協同組合代表理事組合長賞 ▶ 長芋鈴木寿亮(角館町竹市野)、ねぎ鈴木寿亮 仙北農業共済組合長理事賞 ▶ ほうれん草佐藤信行(西木町浦子内) 仙北市農業委員会会長賞 ▶ 里芋高橋喜代子(角館町下碓) 大物賞 ▶ カンショ石橋臣平(田沢湖上卒田) 珍品賞 ▶ 紫いも田沢湖加工グループ、長芋高橋富子、芋高橋喜代子 努力賞 ▶ 長芋石郷岡藤幸(田沢湖大山)

第4部 加工品、漬物(出品5点)

秋田おばこ農業協同組合代表理事組合長賞 ▶ なす漬け三嶋イ工(田沢湖上院内)

第5部 葉たばこ(出品19点)

秋田県たばこ耕作組合長賞 ▶ 葉たばこ黒沢行雄(角館町黒沢)

第6部 工芸品・手芸品(出品20点)

仙北市商工会長賞 ▶ フェルト絵本2古郡知美(田沢湖黒倉)

菊花の部

大菊(厚物・細物)部 最優秀賞 ▶ 藤島三二 優秀賞 ▶ 阿部義信、古郡一美 優良賞 ▶ 柏谷惣吉、太田弘、柏谷朝二 だるま作り 優秀賞 ▶ 古郡一美

仙北市特産品料理コンクール最優秀賞受賞者

敬称略・「」内は作品名()内は集落名

米料理の部 「こまちケーキ」 千葉あつ子(田沢湖石神)
大豆料理の部 「春夏秋冬」 石川悦子(角館町月見堂)
特産品料理の部 「花みそ」 伊藤トモ子(田沢湖本町)
フリーの部 「栗の渋皮煮」 阿部ヤエ子(西木町林崎)

仙北市健康市民のつどい

平成18年度「仙北市健康市民のつどい」が10月29日、仙北市健康管理センターを会場に開催されました。

午前の部では、親子食育教室『骨と歯を丈夫にする食事』が行われ、野菜をたくさん摂れるメニュー“豆腐入り和風ハンバーグ”と“なんでも野菜クリームスープ”づくりに親子でチャレンジ。

また、『子どもの歯の健康教室』も行われ、歯の大切さや虫歯予防の話の聞いたり、歯科医の診察を受け、虫歯の無かった子どもたちが表彰されました。



自分でつくった料理の味は格別



講師の若松さん

午後の部では、西木町出身で、幼稚園の先生としての経験や自身の育児経験をつづったエッセイを出版、自宅で「出会いと生きがい創りの場、陽だまりサロン」を運営している若松亜紀さんを講師に迎え、「私ってどんな親？」と題した健康づくり講演会が行われ、「『私ってどんな親？』チェックテスト」を参加者みんなで実施。テスト結果による10の性格パターンごとにそれぞれの長所、短所を解説しながら、子どもへの対応についてアドバイスされました。

～語って 奏でる 男女共同参画～ 大間ジロー トーク&ライブ

男女共同参画を自分の問題として考えてもらうことを目的に「語って奏でる男女共同参画 大間ジロートーク&ライブ」(主催：大仙・仙北地区ネットワークで参画パワーアップ事業実行委員会)が10月29日、角館広域交流センターを会場に開催されました。

元オフコースのドラマー、大間ジローさんのトークでは、「辛いときこそ、良い言葉“ありがとう”“感謝します”“ついてる”などの言葉を使うことで、自然とまわりが助けてくれる。“ついてない”“無理”“ダメ”など悪い言葉はなるべく使わないことにしている。言葉には魔法のような力がある」と話し、親子や夫婦間でも褒めることが大切。お互いに褒め、認め合い、磨き合う関係が幸せにつながる、と話していました。

続いて、大間さんと田沢湖神代出身の安藤兄弟のユニット「大間組」によるライブが行われ、会場には笛、太鼓、ドラムが響きわたり大いに盛り上がりました。



スタッフもステージに上がり感動のフィナーレ



ふるさを懐かしみながら乾杯！

東京かくのだて会総会

10月28日、東京中野サンプラザを会場に第21回東京かくのだて会総会と懇親会が開催され約130人が参加。新会長に冨木脩平氏が選任されました。市からは石黒市長、佐藤市議会議長をはじめ市関係者やお山囃子「秋桜会」の皆さんが出席しました。

懇親会でお山囃子と手踊りが披露されると、会場は大いに盛り上がりました。また、特別ゲストとして歌手の水田竜子さんが新曲「角館哀歌」を熱唱。会員の皆さんはふるさを思い出しながら懇親を深めていました。

秋田・岩手のうまいもの大集合

秋田県と岩手県を結ぶ仙岩道路(国道46号)開通30年を記念したイベント「秋田・岩手うまいもの祭り」(主催:秋田・岩手うまいもの祭り実行委員会)が仙北市と雫石町で行われ、11月3日に田沢湖庁舎前の駐車場に秋田と岩手のうまいものが大集合。山の芋鍋、きりたんぼ鍋、熊鍋、サケ汁、サンマすり身汁など山海の幸を使った秋田、岩手を代表する鍋や、雫石の「軽トラ市」も開催され多くの人で賑わいました。

会場では、サンマのつかみ取りや、マグロの解体ショー、湯沢清遊キッズ、宮古流星海による踊りも披露され、会場を盛り上げていました。



それぞれ目当ての鍋を求めて行列ができました

秋の火災予防週間 市役所西木庁舎と武家屋敷で防災訓練を実施

秋の火災予防週間に仙北市役所西木庁舎と、角館町の武家屋敷で防災訓練が実施されました。

11月5日に行われた西木庁舎での訓練では、AED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法の訓練に続き、大規模な地震発生により、庁舎ボイラー室から出火したという想定で防災訓練が行われました。消防車の駆け付け放水や市役所職員による避難誘導とけが人の搬送、はしご車を使って逃げ遅れた人の救出など本格的な訓練が行われました。



放水銃による放水訓練



市民が見守る中、はしご車による救助訓練

同12日、武家屋敷「岩橋家」で行われた防災訓練には角館北部自主防災会や消防関係者など約80人が集まり、文化財を火災から守るために設置されている放水銃による放水訓練や消防車の駆け付け放水などが行われました。

第52回仙北地区少年防犯弁論大会 中学生防火防災弁論大会

10月26日、第52回仙北地区少年防犯弁論大会(主催・仙北地区少年保護育成委員会)が角館中学校を会場に開催されました。仙北市内5中学校から7人が参加し、いじめの問題や部活動を通じた仲間との関わりなどをテーマに発表しました。

最優秀賞には、「壁」の演題で発表した角館中学校3年の米澤瑞希さんが選ばれました。米澤さんは、オーケストラ部の部長として様々な壁を家族や仲間とともに乗り越え、音楽で部員の心が一つになった体験を発表。「どんな壁でも仲間と一緒に乗り越えてみせる。まだまだ自分たちの知らない力があるはず」と熱弁しました。



部活動の体験を熱弁する米澤さん



防火について熱弁する荒木田さん

11月10日、神代中学校を会場に平成18年度中学生防火防災弁論大会(主催・秋田県消防協会大仙市仙北市美郷町支部)が開催され、仙北市内5中学校から6人が参加。身近に起きた火災や消防団、消防士の活躍、避難訓練での体験、角館の「火除」から学んだことなど様々な角度から見た防火防災について発表しました。

審査の結果、「『対岸の火事』にしないために」の演題で発表した生保内中学校3年の荒木田竜之さんが最優秀賞に選ばれました。近所で起きた火災で、自分の防災への意識の低さを思い知らされたという荒木田さんは、「いつまでも対岸にいてはいけない。身近にある火事としてみんなで防火について考えよう」と訴えました。

日韓青年交流 西木町できりたんぼづくり体験

日本・韓国青年親善交流事業で来日している韓国青年団一行が11月9日、仙北市西木町を訪れきりたんぼ作りを体験しました。

炊きたての新米をつぶし、木の串に巻いて炭火で炙る全工程にチャレンジ。初めは慣れない手つきでしたが、だんだん上手になると、ちよとつまみ食い、という場面も見られ、みんな楽しみながら秋田の食文化に触れていました。

きりたんぼは、みそたんぼや鍋にして食べ、とてもおいしいと好評でした。



きりたんぼ作りに挑戦する韓国青年団一行



山の芋鍋をお年寄りに振る舞う庖和会の会員

庖和会がたざわこ清眺苑を慰問

11月14日、庖和会(斉藤忠一会長)の会員がたざわこ清眺苑を訪れ、この会で考案した山の芋鍋を調理し入所するお年寄りにごちそうしました。

同会は、昭和55年田沢湖地区の調理師仲間が発足した会で、現在会員は15人、清眺苑への慰問は、23回目になります。

当日は、7人の会員が、この秋に田沢地区で収穫された山の芋5キロとその他の材料を持参し、35人分を調理。噛めない人にも味わってもらおうと、ミキサーで細かくして、昼食として振る舞われました。お年寄りは、山の芋鍋をおかわりするなどとても美味しそうに食べていました。

抱返り紅葉祭でお茶席を開催

10月22日、抱返り神社前社務所で、玉川遠州流畠山社中の真崎晋敬先生と社中4名が、ボランティアでお茶席を開催しました。

抱返り紅葉祭では今回が初めての開催となりましたが、近隣の方だけでなく遠方からも多くの方が参加し、175名が茶道を体験しました。

参加者からは「おいしいお茶で、心も体も温まった。癒された」など喜びの声が聞かれました。



地域の学校で技能奉仕 中川建築技能組合

10月22日、角館町中川地区の中川建築技能組合(組合長・水平誠)の組合員が地元の中川小学校校舎で小破修理等の技能奉仕(写真)を行いました。

地域の学校が少しでも長持ちするようにと窓枠や、屋根、廊下の塗装など、それぞれ専門技術を駆使して傷んだ箇所の修理をしてくれました。同組合では、地域のために役立ちたいということで、数年ごとに保育園や学校で技能奉仕をしてきています。



第1回仙北市安全狩猟射撃大会開催

10月29日、第1回仙北市安全狩猟射撃大会が開催され、18人が参加しました。

成績は以下のとおりです。(敬称略)

- 1位 大石 治 27点
 - 2位 浅利武夫 25点
 - 3位 門脇博美 25点
 - 4位 伊沢芳郎 25点
 - 5位 畠山敏栄 23点
- (上位5位まで。点数は30点満点)

第1回仙北市芸術文化振興大会



講演する富木氏

仙北市芸術文化協会主催の第1回仙北市芸術文化振興大会が、10月19日、田沢湖総合開発センターで開催されました。

この大会は、新しい芸術文化の創造を促進し、地域文化の向上と、県民文化のより一層の充実を目的に開催されたものです。

当日は、佐藤貞一会長が「続けよう・磨こう・広げようのスローガンのもと、県内外へ発信していきたい」と、あいさつ。続いて、地域新聞「角館新聞」編集発行人の富木耐一氏が「小さな新聞の役割」という演題で講演したほか、田沢湖の文学碑を巡る史跡等探訪、午後からは各地区会員が、ダンスや舞踏、謡曲などを発表し、楽しく有意義な一日となりました。

たざわこ音楽祭2006 たつ子伝説 - Legend of Tazko -

プロもアマチュアも一緒に参加する、たざわこ音楽祭2006が、10月21日田沢湖畔の瀧分校で、22日仙北市民会館で開催されました。

今年は「たつ子伝説--Legend of Tazko--」をテーマに、初日の21日は、東京や横浜を中心に活躍するギターデュオ・フリーバースやフルート奏者の高橋雅博さんを核に県内で演奏会を開催しているトリオ・オーダーノ、横手市で母の日コンサートなど開催するマンドリンとピアノのデュオ・コンアモレ、特別ゲストとして、東京を中心に活動している女性ボーカルアンサンブル「SHARE(シェアー)」の皆さんが、八郎太郎との愛の物語をテーマに選曲した音楽祭となりました。

また、22日は前日の出演者に角館高校、角館中学校、生保内中学校の吹奏楽部、たざわこ吹奏楽団の皆さんが加わり、迫力と暖かみのある演奏が披露されました。最後には、出演者と会場に詰めかけた皆さんが、田沢湖出身の作曲家・平岡均之作曲の「わかば」を合唱しました。



女性ボーカルアンサンブル「SHARE」のみなさん

開通30周年を迎えて仙岩道路フォーラム

昭和51年10月28日、秋田県と岩手県を結ぶ仙岩道路が開通し、今年30周年を迎えました。この記念すべき年にこれまでの歴史を振り返り、将来を見据えた道路のあり方について考える場として「仙岩道路フォーラム」(NPO法人秋田岩手横軸連携交流会主催)が、10月29日、田沢湖総合開発センターで開催され、約160人が参加しました。

当日は、日本秘湯を守る会会長の佐藤億好氏が「峠の先にみえる風景」という演題で「道路があるとは、人が住んでいて人の心と心とを結んでいる。道路が整備され、すべて東京と同じでいいとは思わない。これからは、それぞれの地域が個性を磨き誇りに思える地域を残さなければいけない」など、全国を見てきた視点での基調講演が行われました。また、角館



講演する佐藤氏



多数の意見が出されたパネルディスカッション

南高校インターアクトクラブによる映像インタビュー、秋田大学助教授浜岡秀勝氏によるアンケート調査の報告、観光・福祉・運輸の分野からのパネリストの皆さんが、「仙岩道路、いま、むかし、そして、これから」のテーマでパネルディスカッションを繰り広げました。

パネルディスカッションでは、それぞれ利用者の立場から「岩手県の平泉が世界遺産へ登録されると、みちのくの小京都角館とを結ぶ国道46号の需要が増える。そのときのためにも仙岩峠を4車線にしてほしい」「秋田県はサイン不足なので案内板を設置してほしい」「特にトンネルの出入口に融雪装置の設置をしてほしい」など、様々な意見が出されました。

統計調査活動実り 相模ツアさんに瑞宝単光章

秋の叙勲で、相模ツアさん(田沢湖生保内)が、長年に亘る統計調査業務への功勞により瑞宝単光章を受章されました。



相模さんは、昭和40年に工業統計調査員の任命を受けて以来、平成8年まで32年間の長きに亘り調査員を務められたほか、商業統計調査12回、国勢調査9回、事業所・企業統計調査6回、農林業センサス調査2回、就業構造基本調査2回、秋田県農業基本調査11回など、数多くの統計調査に携わってこられました。

戸澤憲雄さん100歳 おめでとうございます

明治39年11月11日生まれの戸澤憲雄さんが、100歳を迎えられました。

10日には、県仙北地域振興局福祉環境部次長がにしき園を訪れ、記念品を手渡したほか、家族からは花束が贈られ、皆さんから祝福を受けました。



平成18年度仙北市ふるさと景観賞

11月2日、西木開発センターで「仙北市ふるさと景観賞」の表彰式が行われました。

この「仙北市ふるさと景観賞」は、愛着と親しみと誇りの持てる美しい市を創出するため、良好な景観を形成している建築物や優れた景観づくりに貢献している個人・団体などを表彰するものです。

6月から募集したところ、建築物9点、工作物1点、景観形成活動2点の応募総数12点から、仙北市歴史的景観審議会による審査の結果、建築物3件、設計・施工4社が表彰されました。



秋田魁新報社 角館支局

外観に堅格子を主体とするなど角館駅通りの景観に配慮したものとなっている。



思い出の漣分校

昭和49年廃校となり、老朽化した分校を修復、一般公開。なつかしく美しい景観の維持に努めている。



五井酒造店

外観を江戸期の特徴そのままにみごとに復元し、周辺とのバランスも良く、伝統を受け継いだ建築物。

仙北市物産展「山の楽市」と「秋田せんぼく米っこ祭り」開催

11月9日から11日の3日間、横浜市の相模鉄道二俣川駅構内特設会場において、仙北市物産展「山の楽市」と「秋田せんぼく米っこ祭り」を開催しました。

この「山の楽市」は、相模鉄道が運行している高速夜行バス「レイク&ポート号」が縁で平成7年から旧田沢湖町で実施していたもので、仙北市としては2回目の開催となりました。

冬の観光シーズンを目前に、観光キャンペーンも実施し、PRを行ったほか、地場特産品や農産物などの販売、またそれを育んだ地区の紹介を行いました。秋田を代表するきりたんぼや稲庭うどんなども販売し、また、～おらほのちよこっとこだわり新米フェア～と題した「秋田せんぼく米っこ祭り」も好評で、新米あきたこまちを買い求める人で賑わい、混雑しました。



新鮮な野菜や特産品が並ぶ会場

豊かな人間性をはぐくむ学校教育の推進に努めて (10月~11月)

◎地域との交流会【10/4(水)】

平成12年度から行われている「地域との交流会」が10月4日午前9時から本校体育館で行われました。秋晴れの天候にも恵まれ、町内の高齢者107名の方々にご参加いただき、本校の全校生徒との交流会がお昼近くまで続きました。

この「交流会」は、「学校花まるっプラン」のひとつとして、ご高齢の方々との交流を深めることにより、福祉について生徒に考えさせることを狙いとしています。当日は、演劇コンクール特別賞受賞クラスの演劇の発表、合唱コンクール優秀賞受賞2クラスの発表や吹奏楽部の演奏などが行われました。発表の間をぬっての交流タイムでは、お互いの自己紹介や生徒からの家庭科の授業で作った巾着袋のプレゼントなどが行われ、体育館全体がほのぼのとした雰囲気になりました。最後に全員で「ふるさと」と、今年の合唱コンクールの課題曲「Tomorrow」を歌い、交流会の幕は閉じられました。

数日後、参加されたお一人から心のこもったお礼状までいただきました。お心遣いありがとうございました。



◎現在の進路状況について

進学内定者 44名(55.7%)

就職内定者 32名(91.4%)

11月17日現在の今年の3年生の進路状況の詳細は右記の通りです。9月15日の一般企業の入社試験に始まり、その後、専修学校、短大、四大の推薦入試が続いており、その入試の結果が順に届いております。一般企業希望者は昨年度からすれば14名の減。その分、国公立四大・私立四大の希望者が5名の増。私立短大希望者が6名の増になっております。就職希望者35名の中の公務員内定者3名はいずれも自衛官です。就職希望者は県内を希望している3名が未定となっており、これからも引き続き希望者全員の内定に向けて生徒と共にがんばりたいと思っております。

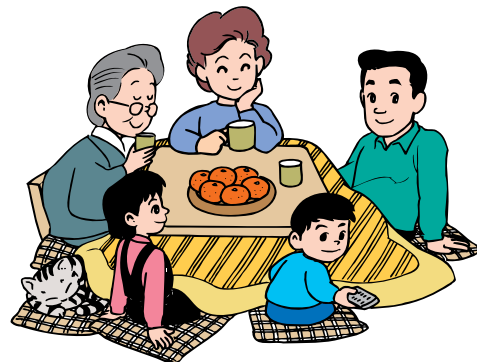
進学希望者は国公立四大希望者が2名、私立四大希望者が6名と一昨年並の希望者数となっております。希望学部は国際・人文系、健康栄養・保健系で、角南での学習を土台にし更なる深まりを目指してほしいと思います。今年の進路の特色のひとつである私立短大希望者の増加ではありますが、保育・児童教育、看護・介護福祉系の進学者が多く、それに芸術系、情報系の進学希望者が続くという形です。専修学校等は例年並みの希望者数で介護福祉、理美容、経理等の希望が多いのが特徴でした。

114名全員の進路希望実現に向けて生徒・職員一丸となってがんばりますので、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

進路希望先	進路希望者数	合格内定者数
国公立四大	2	0
私立四大	6	2
国公立短大	6	0
私立短大	24	7
専修学校等	41	35
進学希望者	79	44
公務員	3	3
県内就職	18	15
県外就職	14	14
就職希望者	35	32
総計	114	76
在籍者数	114	

速報! おめでとう!!

マーチングフェスティバル横手大会 **金賞(東北大会出場)※13年連続**
全日本マーチングコンテスト東北大会 **銀賞 受賞**



ご自身の年金記録を確認し、将来の年金受給に備えましょう ～年金記録相談の特別強化体制を実施しています～

社会保険庁では、平成9年1月に年金制度間に共通する「基礎年金番号」を導入し、それまで加入していた国民年金・厚生年金等の年金手帳記号番号を基礎年金番号に収録することにより、各年金制度を通じた記録の整備に取り組んでいます。

年金加入記録については、以下の方法により確認することができます。

①インターネットで確認できます

(社会保険庁ホームページアドレス <http://www.sia.go.jp/>)

基礎年金番号がお分かりの方は、社会保険庁ホームページより年金加入記録閲覧のお申込みが可能です。

②電話でお申込みできます

(『ねんきんダイヤル』 TEL ^{いろいろご} 0570-05-1165)

基礎年金番号がお分かりの方は、本人確認を行ったうえで、年金加入記録をご自宅に郵送します。

③社会保険事務所へお越しください

基礎年金番号がお分かりでない方でも、本人確認ができる書類(運転免許証、保険証等)をお持ちになって、最寄りの社会保険事務所へお越しください。

年金加入記録・納付記録に 疑問がある場合は

最寄りの社会保険事務所へご相談ください。ご自身の年金記録に少しでも不安や疑問をお持ちになられた皆様に、ご自身の年金記録を積極的にご確認いただくとともに、疑問にお答えできるよう、本年12月末まで、年金記録相談の特別強化体制を県内の各社会保険事務所で取っています。

この機会にぜひご利用いただき、ご安心いただけるようご案内します。

※共済組合期間の記録は各共済組合において管理されていますので、社会保険事務所で確認できない場合がありますのでご注意ください。

仙北市の医療費(9月診療分)

●国保

世帯数	6,959戸
被保険者数	15,258人
(老人保健以外)	11,184人)
総医療費	16,382万1千円
1人あたり医療費	14,648円

●老人保険

加入者	5,738人
総医療費	30,654万3千円
一人あたり医療費	53,423円

●福祉医療

受給者	3,421人
個人負担への助成額	1,729万8千円
1人あたり助成額	5,057円

新着図書

新潮社から学習資料館へ寄贈されました図書を紹介します

ほたる(北原亜以子)
 玉虫と十一の掌篇小说(小池真理子)
 12星座の恋物語(角田光代・鏡リュウジ)
 百万遍 古都恋情 上・下巻(花村萬月)
 老師と少年(南直哉)
 大和魂(赤瀬川原平)
 ラスト ワン マイル(楡周平)
 歓喜する円空(梅原猛)
 三島由紀夫 神の影法師(田中美代子)
 海(小川洋子)
 きつねのはなし(森見登美彦)
 東京公園(小路幸也)
 コレラの時代の愛(ガブリエル・ガルシア=マルケス)
 睡蓮の教室(ルル・ワン)
 日本テレビとCIA(有馬哲夫)
 知ることより考えること(池田晶子)
 美しいもの(赤木明彦)
 京をんな(杉本彩)
 着るものがない!(中野香織)
 静かなるホイッスル(柴谷晋)
 豪憲はなぜ殺されたのか(米山勝弘)
 工藤公康 プロフェッショナルの矜持(黒井克行)
 阿川弘之全集 15巻(阿川弘之)
 剣と禅のこころ(佐江衆一)
 ホワイトハウスの職人たち(マイケル・ユー)

戦場でメシを喰う(佐藤和孝)
 自分らしい逝き方(二村祐輔)
 CD宮本武蔵名場面集 第五集・第六集(吉川英治)
 さすらい(赤川次郎)
 魂の森を行け(一志治夫)
 総会屋勇次(江上剛)
 セックスボランティア(河合香織)
 改革の虚像(櫻井よしこ)
 天国はまだ遠く(瀬尾まいこ)
 自転車少年記(竹内真)
 十一月の扉(高桜方子)
 「指紋の神様」の事件簿(塚本宇兵)
 嗤う闇(乃南アサ)
 そして殺人者は野に放たれる(日垣隆)
 蛍の行方(諸田玲子)
 下山事件(シモヤマ・ケース) (森達也)
 脳のからくり(竹内薫・茂木健一郎)
 「人生の答え」の出し方(柳田邦男)
 ダーク・タワー 暗黒の塔 上(スティーヴン・キング)
 ロリータ(ナボコフ)
 眠狂四郎無情控 上・下(柴田錬三郎)
 ゴーゴー こちら私立華咲探偵事務所。 1巻(渡辺航)
 天の霸王 北斗の拳 ラオウ外伝 2巻
 (武論尊/原哲夫)
 コンシェルジュ 7(いしげきひでゆき)
 ゴッドサイダー セカンド 10巻(巻来功士)

学習資料館からお知らせ

仙北市総合情報センター・学習資料館は、西宮家(田町側)向かいにあります。

ビデオ・CDも貸出しております。どうぞご利用下さい。

開館時間 火曜日～土曜日 午前9時から午後7時

日曜日 午前9時から午後5時(休館日は月曜日、祝日、月末)

田沢湖図書館だより

今月のおすすめ

「お天気彩時記」

四季おりおりのお天気の話題をわかりやすく解説しています。テレビではわからない著者の素顔も伝わってきます。

(半井小絵著 かんき出版)



「いちばんすてきなクリスマス」

おとうさんは、仕事をなくして、プレゼントを買えそうにありません。でも、その日の朝に小さな包みが届いていました。お金がなくても、豊かに過ごす一家の物語です。

(チェン チューエン著 コンセル)

新着図書紹介

恋いちもんめ(宇江佐真理)
 ひとかげ(よしもとばなな)
 農業起業のしくみ(神山安雄)
 日本人の食育(橋本直樹)
 天下布武(安部龍太郎)
 中原の虹(浅田次郎)
 性犯罪の心理(作田明)
 感動する数学(桜井進)
 息がとまるほど(唯川恵)
 女子バレーの女神たち(吉井妙子)

12月と年始の休館日

4日(月) 11日(月) 18日(月)

23日(天皇誕生日) 25日(月)

28日～1月4日(年末年始)

クリスマス絵本コーナー開設!

今年の新刊から、5年・10年と読みつがれているものまで、いろいろな絵本を展示しています。一度手にとってご覧ください。



「おでかけ講座」第2弾参加者募集

六郷「湧太郎」で純銀粘土でシルバーアクセサリーをつくります。クリスマスプレゼントにいかがですか？

日時 12月11日(月) 9:30出発 小野崎家駐車場より
対象 仙北市民の方 20名まで
会場 六郷「湧太郎」
講師 小原 明美 さん
申込み 12月7日まで角館公民館へ電話で申し込んでください(TEL 54 - 1110)
参加料 材料代2,500円と交通費500円をご負担ください
その他 日程等については参加者の方へ直接連絡します

～新年の気持ちを筆に込めて～

第2回仙北市新春書初大会

仙北市の3公民館(角館・田沢湖・西木)主催による書初大会を今年も開催します。
 提出作品は、各地区で展示した後にお返しします。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 1月5日(金)
 受付8:30～9:00、開会式9:30～
会場 角館広域交流センター
課題 小中学校は書友社の新年書きぞめ手本
 高校、一般は自由課題
参加費 無料
持参するもの 書道用具一式、下敷き
 (用紙は当日配布します)
申込締切 12月21日(木)
申込・問合せ 最寄りの公民館へ(電話予約可)
 氏名・年齢(学年)・住所・電話番号をお知らせください
 角館公民館 TEL 54 - 1110
 田沢湖公民館 TEL 43 - 1061
 西木公民館 TEL 47 - 3100



カントリードール教室開催

かわいいカントリードールを作ってみませんか?作り手の想像力を全部人形に込めて、自由に作ることができます。癒し効果があり、お部屋のインテリアとして、子どものおもちゃとして最適です。



日時 1月26日(金)開始。毎週金曜日
 1/26・2/2・2/16・2/23・3/2・3/9・3/16(全7回)
 13:00～16:00頃まで
会場 田沢湖総合開発センター
費用 材料費として、1、2回目分で1,500円。3回目以降は作品により異なります
持参するもの 裁縫道具一式、定規、鉛筆
講師 藤原 恵
定員 20名(定員になり次第締め切ります)
申込み 12月6日(水)から1月22日(月)まで(月～金のみ)
申込先 田沢湖公民館 TEL 43 - 1061(電話予約可)
 氏名・住所・電話番号をお知らせください

親子クリスマス・リース作り教室

12月に入ると、もうクリスマスの季節ですね。そこで、親子クリスマス・リース作り教室を開催します。素敵な聖夜を演出してみませんか?



日時 12月23日(土) 9:30～12:00
会場 仙北市就業改善センター(神代)
費用 材料費として1,500円
持参するもの エプロン、ハサミ
講師 杉山 明子(工房「北の仲間たち」)
定員 親子20組(定員になり次第締め切ります)
申込み 12月6日(水)から12月18日(月)まで(月～金のみ)
申込先 田沢湖公民館 TEL 43 - 1061
 電話でお申込みください
 氏名・住所・電話番号をお知らせください

公民大学12月予定表

角館公民館

内容	日	時刻	会場
公民大学 郷土研究学科	12日	13:30	角館公民館
公民大学 書道学科(研究)	6日	13:30	角館公民館
公民大学 書道学科(専門)	13日	13:30	角館公民館
公民大学 書道学科	20日	未定	未定
公民大学 陶芸学科(1班)	5、19日	9:30	陶芸実習室
公民大学 陶芸学科(2班)	7、21日	9:30	陶芸実習室
公民大学 社会学科	14日	10:00	奥羽山荘

ヨーガでリフレッシュ!!

身体が縮む季節になりました。リラックスヨーガでココロとカラダをリフレッシュしましょう!!

日時 12月21日～下記の木曜日10:30～11:30
 12/21・1/18・1/25・2/1・2/8
 2/22・3/1・3/8・3/15(全9回予定)
会場 西木保健センター(西木町門屋字漆原84)
 クリオンの隣です
講師 小松尚子さん
 (日本体育協会公認スポーツプログラマー)
参加費 無料
持ち物 なし
服装 動きやすい格好
定員 20名(定員になり次第締め切ります)
申込・問合せ 西木公民館 TEL 47 - 3100
 FAX 47 - 3140



平成19年から あなたの所得税・住民税が変わります。

●平成19年から税源移譲により、所得税と住民税の税率が変わります。

何が変わるの？

「地方のことは地方で」という方針のもと、地方分権を積極的に進めていく「三位一体改革」が実現します。その柱といえるのが、今回の「税源移譲（ぜいげんいじょう）」。

税源移譲では、所得税（国税）と住民税（地方税）の税率を変えることで、**国の税収が減り、地方の税収が増える**ことになります。およそ3兆円の税源が、国から地方へ移譲されます。

どう変わるの？

税源移譲によって、地方は必要な財源を直接確保できるようになります。これにより、住民は**より身近で、よりよい行政サービス**を受けられるようになります。

所得税 **平成19年1月分から適用** → 4段階の税率を、**6段階に細分化**
（所得税と住民税を合わせた税負担が変わらないよう制度設計）

住民税 **平成19年6月分から適用** → 3段階の税率から、**一律10%に**
（都道府県民税4%・市区町村民税6%）

ほとんどの方は、**1月分から所得税が減り、そのぶん6月分から住民税が増えること**になります。しかし、**税源の移し替えなので、「所得税+住民税」の負担は基本的には変わりません。**

モデルケース 税源移譲による負担変動（年額）

独身者の場合

給与収入	税源移譲前			→	税源移譲後			負担増減額
	所得税	住民税	合計		所得税	住民税	合計	
300万円	124,000円	64,500円	188,500円	→	62,000円	126,500円	188,500円	= 0円
500万円	258,000円	163,000円	421,000円	→	160,500円	260,500円	421,000円	= 0円
700万円	474,000円	307,000円	781,000円	→	376,500円	404,500円	781,000円	= 0円

夫婦+子供2人の場合

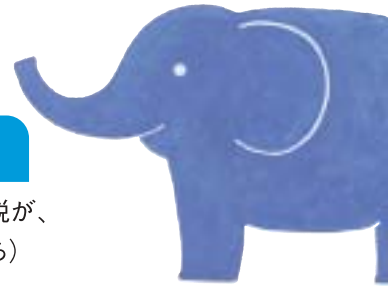
給与収入	税源移譲前			→	税源移譲後			負担増減額
	所得税	住民税	合計		所得税	住民税	合計	
300万円	0円	9,000円	9,000円	→	0円	9,000円	9,000円	= 0円
500万円	119,000円	76,000円	195,000円	→	59,500円	135,500円	195,000円	= 0円
700万円	263,000円	196,000円	459,000円	→	165,500円	293,500円	459,000円	= 0円

※夫婦+子供2人の場合、子供のうち1人が特定扶養親族に該当するものとしています。

※一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。

★このほか、実際の負担増減額には、平成19年から定率減税が廃止される等の影響があることにご留意ください。（詳しくは右のページをご覧ください）

◎税源移譲以外の主な変更点



●定率減税が廃止されます。

平成11年度から、景気対策のために暫定的な税負担の軽減措置として導入されていた定率減税が、最近の経済状況を踏まえて廃止されます。(所得税は平成19年1月分、住民税は平成19年6月分から)

平成18年

所得税：平成18年1月分から
税額の10%相当額を減額(12.5万円を限度)
住民税：平成18年6月分から
税額の7.5%相当額を減額(2万円を限度)



平成19年以降

所得税：平成19年1月分から廃止
住民税：平成19年6月分から廃止

モデルケース 夫婦＋子供2人・給与収入700万円(年額)



平成18年

住民税 196,000円
・定率減税 △14,700円
所得税 263,000円
・定率減税 △26,300円
合計 418,000円



平成19年

住民税 293,500円
所得税 165,500円
合計 459,000円

※子供のうち1人が特定扶養親族に該当するものとしています。 ※一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。

●住民税の老年者非課税措置が廃止されましたが、経過措置がとられています。

平成17年1月1日現在、65歳以上の方(昭和15年1月2日以前に生まれた方)で、前年の合計所得金額が125万円以下の方は、平成17年度まで住民税が非課税でしたが、年齢に関わらず公平に負担を分かち合うという観点から、この措置が平成18年度から廃止され、現役世代と同様の制度が適用されています。ただし、急激な税負担を緩和するため経過措置がとられています。

平成17年度

合計所得金額
125万円以下の方
非課税



平成18年度以降

課税

経過措置として
平成18年度は税額の3分の2を減額
平成19年度は税額の3分の1を減額
平成20年度以降は、全額負担

※この経過措置は昭和15年1月2日以前に生まれた方が対象になります。

モデルケース 70歳独身・年金収入200万円(年額)



平成17年度

住民税 **非課税**
所得税 34,800円
・定率減税 △6,960円
合計 27,840円
(税額 27,800円)



平成18年度

住民税 19,900円
・定率減税 △1,500円
・(住民税一定率減税) × $\frac{2}{3}$ △12,267円
所得税 34,800円
・定率減税 △3,480円
合計 37,453円
(税額 37,400円)



平成19年度

住民税 37,300円
・住民税 × $\frac{1}{3}$ △12,434円
所得税 17,400円
合計 42,266円
(税額 42,200円)

※一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。

※年金収入200万円の方は、年金に係る控除を行った後の合計所得金額は125万円以下なので、経過措置が適用されます。

※各モデルケースの住民税(年額)は所得割に係るもので、このほか均等割が課税されます。

お問い合わせ / 仙北市税務課 TEL43-1117

平成19年度 仙北市立保育園入園申込みのご案内

認可保育園

入園基準 保護者の家庭内外における労働、病気や出産、家族の介護などのため、家庭での保育が難しい就学前の児童

保育園名	定員	入園対象	所在地
生保内保育園	120名	0歳から	田沢湖生保内字武蔵野117-263
神代保育園	100名	0歳から	田沢湖神代字珍重屋敷89-3
角館保育園	190名	0歳から	角館町中菅沢91-1
白岩小百合保育園	60名	0歳から	角館町白岩上西野93-1
角館西保育園	60名	1歳から	角館町雲然田中437-2
中川保育園	45名	1歳から	角館町川原羽黒堂324-1
にこにこ保育園	90名	0歳から	西木町門屋字六本杉2-1
ひのきない保育園	50名	0歳から	西木町桧木内字高屋137

受付期間 平成18年12月18日(月)~平成18年12月28日(木)

申込方法 福祉事務所(西木庁舎内)、田沢湖・角館地域センター総合窓口課、各出張所及び各保育園にある申込書に必要事項を記入し、受付期間内にお申し込みください。
現在、入園している方には、保育園をとおして申込書をお渡します。

添付書類 申込み時まで準備できない書類は、準備ができ次第速やかに提出してください。
平成18年分 源泉徴収票の写し
平成18年分 確定申告書の写し
平成19年度 市町村民税・県民税申告書の写し(が無い場合)
平成18年1月2日以降に仙北市へ転入された方は、前住所地での平成18年度住民税課税(又は非課税)証明書
就労証明書その他必要な書類(病気や出産などの理由による入園の場合、医師の診断書や身障手帳、母子手帳が必要です。)

保育料 保護者の所得や家庭の状況、児童の年齢などにより異なります。

へき地保育園

入園希望の方は、下記保育園または市役所各庁舎・出張所にある申込書を受付期間内に提出してください。

保育園名	定員	入園対象	所在地
かみひのきない保育園	15名	3歳から	西木町上桧木内字大森37

受付期間 平成18年12月18日(月)~平成18年12月28日(木)

☆ 問い合わせ ☆ 福祉事務所 長寿子育て課 子育て支援係(TEL:43-2280)

平成19年度 幼稚園 入園申込みのご案内

市立幼稚園

教育内容 幼児を保育し、幼稚園・保育園間の交流を行いながら、心身の発達を助長することを目的とします。

対象児と定員

幼稚園名	定員	年 齢			住 所	電 話
		5歳児	4歳児	3歳児		
生保内幼稚園	90名	60名	30名	×	田沢湖生保内字武蔵野117-263	43 - 0475
田沢幼稚園	60名	30名	30名	○	田沢湖田沢字高屋140	42 - 2250
神代幼稚園	60名	30名	30名	×	田沢湖神代字珍重屋敷74-2	44 - 3628

市内であればどの幼稚園にでも入園できます。(全体枠で入園の可否を決定します)

受付期間 平成18年12月18日(月)~平成19年1月12日(金)

申込方法 各幼稚園、市教育委員会、各地域センター、各出張所に備え付けの入園願書に記入の上、入園希望する幼稚園に提出してください。

入園許可は平成19年2月上旬までに文書で保護者に通知します。

問い合わせ 入園を希望する幼稚園へ直接お問い合わせください。

私立幼稚園

かくのだて幼稚園 TEL 53 - 2110

かわいい内容は直接お問い合わせください。

介護保険事務所からのお知らせ

要介護認定から介護保険のサービス利用まで

要介護認定の申請をして、「経過介護(旧要支援)」、「要介護1~5」のいずれかの認定を受けた方は介護保険のサービスを利用できます。 認定の目安は表を参照

「施設サービス」を利用したい場合

・入所を希望する方は直接施設に申し込むことになります。 「経過介護」の方は利用できません

「在宅サービス」を利用したい場合

「居宅介護支援事業所」へ連絡して、ケアプラン(居宅サービス計画)作成を依頼します。

「居宅介護支援事業所」は介護保険事務所ホームページ URL <http://www.oskaigonet.or.jp/>

または市窓口・介護保険事務所にある一覧表でご確認ください

担当のケアマネジャーにケアプランを作成してもらいます。適切な介護サービスを利用できるように相談しましょう。

サービス提供事業所との連絡・調整はケアマネジャーが行います

ケアプランにそって「在宅サービス」が始まります。

表 要介護度と心身の状態(例)

経過介護	「起き上がり」「立ち上がり」「片足立位」がつかまらないとできない。「薬の内服」や「電話の利用」などに介助を要する状態
要介護1	「金銭の管理」「歩行」「洗身」「つめ切り」などに介助を要する状態
要介護2	「歩行」「洗身」「衣服の着脱」などに介助を要する状態
要介護3	「衣服の着脱」「排泄」「移乗」「洗顔」「整髪」などに介助を要する状態
要介護4	「排泄」「移乗」に加えて「食事摂取」にも介助を要する状態
要介護5	「排泄」「移乗」「食事摂取」などに「全介助」を要する状態。「指示への反応」や「記憶・理解」もできない状態

ここに示した状態は厚生労働省の資料をまとめたものです。認定を受けた方の状態と完全には一致しないこともありますのでご注意ください

問い合わせ

介護保険事務所 認定審査班 TEL0187 - 86 - 3912

仙北市福祉事務所 長寿子育て課 長寿いきがい係 TEL43 - 2281

**製造事業所の皆様へ
工業統計調査にご協力ください**

経済産業省では、工業統計調査を平成18年12月31日現在で実施します。

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。

調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などでの研究資料、小・中・高等学校の教材など、広く利用されているところです。

皆様からご提出していただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

問合わせ:企画政策課

TEL(43)1112

自衛隊生徒募集

受付期間:平成19年1月9日(火)まで

応募資格:中卒(見込含む)で17歳未満の男子

試験期日:

第1次試験 平成19年1月13日(土)

第2次試験 平成19年1月26日(金)

~29日(月)までの間の指定する1日

問合せ:自衛隊秋田地方協力本部

大仙地域事務所 TEL0187(63)1313

**大曲仙北地域
ケア研究会研修会**

高齢者が安心して生活できる環境や病気の予防について学ぶ大曲仙北地域ケア研究会研修会を開催します。

日時:12月15日(金) 14:00~

会場:大曲プラザつつみ

内容

14:00~

講演「福祉は何処に行くのか」

講師 日本赤十字秋田短期大学

教授 三浦正樹氏

16:30~ 交流会

参加費:無料

問合せ:大曲福祉センター

(大曲在宅介護支援センター)

TEL0187(63)3788

児童虐待防止のために ~あなたの「もしや?」が子どもを救う~

近年、児童虐待の相談件数が急増し、痛ましい事件も発生し続けています。かわいそうな子どもを一人でも救うためには、地域のみなさんからの通報が重要になっています。「もしや?」と思ったら、関係機関への通報をお願いします。

児童虐待とは...

「身体虐待」~殴る蹴るなどの暴行等

「ネグレクト」~教育、育児の怠慢

「性的虐待」~わいせつな行為をしたり、させること

「心理的虐待」~暴言や拒絶する態度などにより、心理的に傷つけること

関係機関の連絡先

福祉事務所 TEL(43)2288

南児童相談所 TEL0182(32)0500

仙北警察署 TEL(53)2111

病院所有地の処分

市立角館総合病院の所有地を次のとおり処分しますので、ご希望の方はお申込みください。

所在地:仙北市角館町上野154-5、154-6(面積914.52㎡) 下図参照

応募条件:一括購入

応募資格:次の ~ 全てに該当する方

売買代金の支払いを現金決済できる方

買い受けた土地を公序良俗に反する用途

に供するおそれがない方

営利目的でない方(個人に限る)

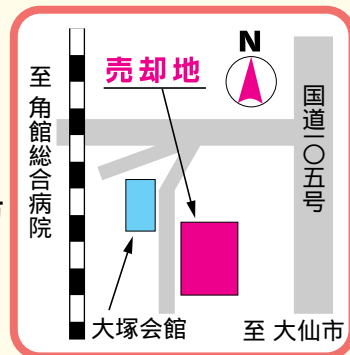
買い受け者の決定方法:価格が一番高い方

申込期限:12月11日(月)まで

申込、問合せ:市立角館総合病院管理課

TEL(54)2111

所定の用紙に記入、印鑑持参



**障害福祉計画・障害者計画策定のための
アンケート調査にご協力ください**

現在、仙北市では、障害のある人が暮らしやすいまちづくりの実現をめざし、「障害福祉計画及び障害者計画」の策定作業を進めております。

この計画に市民のご意見、ご要望などを反映するため、約1,100人の方及び福祉関係の事業所を対象とし、障害福祉に関するアンケート調査を行っております。

調査対象となっている方は、お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえご協力くださるようお願いいたします。

問合せ・提出先:仙北市西木町上荒井字古堀田47 福祉事務所 社会福祉課

TEL(43)2288 / FAX(47)2116

12月の心配ごと相談日

社会福祉協議会による心配ごと相談日の日程です。

角館地区(社会福祉協議会角館支所)	12月7日(木) 13:00~16:00
角館地区(市役所角館庁舎西側庁舎)	12月14日(木) 13:00~16:00
角館地区(市役所角館庁舎西側庁舎)	12月21日(木) 13:00~16:00
生保内地区(総合開発センター)	12月6日(水) 13:00~16:00
生保内地区(総合開発センター)	12月20日(水) 13:00~16:00
神代地区(神代出張所)	12月13日(水) 13:00~16:00
西木地区(西木公民館)	12月15日(金) 10:00~12:00

問合せ:仙北市社会福祉協議会 TEL(52)1624 / FAX(55)1815

～家庭用ホームタンクを取り扱う皆様へ～

雪降る前に配管の確認!! うっかり閉め忘れ要注意!!

【注意喚起チラシ】

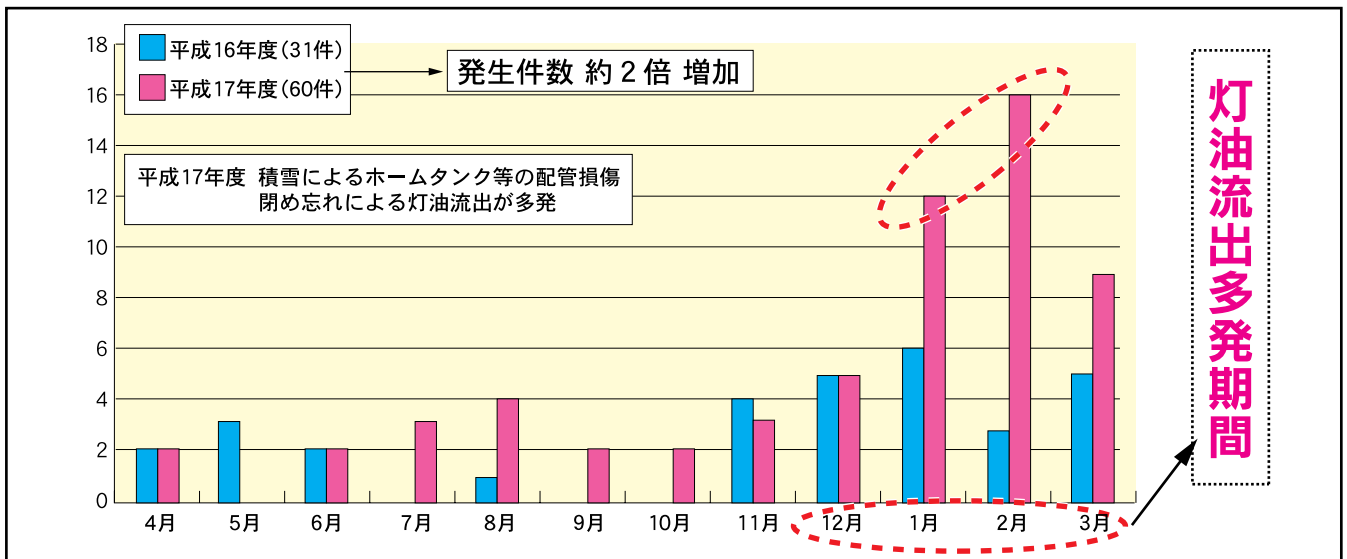


・H17年度は油流出事故が頻繁に発生し、H16年度の2倍となる60件の油流出事故が起きました。その原因は、ホームタンクの閉め忘れと積雪による配管の損傷が上位でした。皆様方の御協力があれば未然に油の流出は防げますので御協力お願い致します。

・事故を起こすと油の回収・処理に灯油18リットルの場合、約50万円の費用がかかってしまいます。そしてその費用は事故を起こした原因者が責任を持って負担しなければなりません。

事故を起こした場合また発見した場合は、お近くの消防署、警察署、市町村役場、県や国の機関へご連絡ください

【H16年度・H17年度 発生月別 比較グラフ】



雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会

上流事務局

国土交通省 湯沢河川国道事務所
TEL 0183-73-5340

河川管理課

下流事務局

国土交通省 秋田河川国道事務所
TEL 018-864-2290

河川管理課

お誕生おめでとうございます

氏名	保護者	住所
酒出 莉奈	芳紀	田沢字寺下
長沼 太一	浩幸	小松字城廻
藤川 晴琉	裕	角館東前郷字前野
後藤 駿徳	久幸	神代字長信田
大山 息吹	高由	梅沢字丸山
石橋 彩華	弦	卒田字白簾
藤原 大斗	和裕	卒田字黒倉
塩澤 青飛龍	淳	卒田字早稲田
船木 あみ	基行	上菅沢
柴田 侑和	和哉	岩瀬下夕野
藤邑 晃暢	郁	岩瀬
坪山 友里	有平	小館
伊藤 麻由	智紀	小館
北島 つばき	崇行	西野川原
加納 驍馬	洋	小勝田下村
辻 蓮汰	和樹	小勝田小倉前
伊藤 玲美	満	西長野川下田
畠山 心彩	亮一	西長野中泊
石郷岡 希空	優介	雲然碓
高橋 勇人	清嗣	蘭田大久保
鈴木 千寛	朗	上桧木内字東上戸沢
田中 心愛	聡	上桧木内字横枕
佐々木 りく	和宏	桧木内字吉田
木内 颯真	淳	門屋字六本杉
吉田 彩乃	一善	小淵野字袖野

(10月届出分・敬称略)

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	住所
小田島 ハルエ	96	生保内字下高野
千葉 フミ子	79	生保内字堂ノ前
鈴木 繁	75	生保内字上滝沢
鈴木 寅夫	81	生保内字武蔵野
柏谷 アキ	79	生保内字武蔵野
佐々木 吉一	87	生保内字街道ノ上
田口 榮一	83	生保内字沼田
畠山 千ホネ	88	生保内字田向
高田 重一	83	小松字本町
藤川 久米雄	58	角館東前郷字中関
清水 マツエ	87	岡崎字鎌川
佐藤 ハルエ	97	神代字戸伏
高橋 ウメノ	76	梅沢字森腰
大石 賢司	79	梅沢字森腰
石郷岡 ユキ	87	勝楽
大澤 爲三	68	花場下
菅原 夕マ	85	川原町
佐曾田 幸代	69	横町
鈴木 千登勢	45	川原太田
仙波 實豊	73	小勝田中川原
門脇 豊	79	小勝田中川原
青山 キヨエ	82	下延上野坊
菅原 吉郎	90	下延大瀬蔵野
高雲 春雄	61	蘭田保呂石
布谷 源治	90	蘭田坂井村
西堀 徳治	82	桧木内字松葉
堀門 庄一郎	75	桧木内字相沢
門脇 正一	86	西明寺字佐曾田
齋藤 邦太郎	76	小山田字八津
小林 竹二	77	小山田字堀之内
小佐藤 シツエ	74	小山田字小原木
門脇 利光	98	小山田字石川原
津嶋 誠五郎	52	小山田字沢口
佐藤 サダ	82	門屋字道目木
戸澤 マツノ	78	門屋字漆原
鈴木 イワ	85	上荒井字西野
鈴木 イワ	89	小淵野字小白川

(10月届出分・敬称略)

善意ありがとうございます (10月受付分)

社会福祉協議会へ…

■ 一般寄附

- ・角館南高等学校インターアクトクラブ
- ・神代中学校生徒会一同
- ・羽根川史郎さん(西勝楽町)
- ・茶たての清水を守る会 代表 青柳征さん
(社協・田沢湖手をつなぐ育成会へ)
- ・大曲仙北危険物安全協会
- ・西明寺婦人会
- ・鈴木隆行さん(上桧木内字大地田)
- ・表千家同門会秋田県支部

清眺苑へ善意・奉仕・慰問…

- ・JAつくし会
- ・鈴木敏子さん(生保内字武蔵野)
- ・藤原由悦さん(生保内字水尻)
- ・生保内地区婦人会
- ・田沢湖地区民生委員

■ 香典返し寄附

- ・佐藤澄夫さん(神代字白簾)
- ・藤川泰さん(角館東前郷字中関)
- ・田村岩男さん(刺巻字刺巻)
- ・佐藤邦美さん(小山田字石川原)
- ・畠山製さん(生保内字田向)
- ・大石ミヨさん(梅沢字森腰)

仙北市ミ二統計10月

■人口	男 15,133人	■火災	3件
■人口	女 17,026人	■交通事故(うち死傷者)	16件(24人)
■人口	計 32,159人	■飲酒運転違反者	2人
■世帯数	10,846世帯	■ゴミ処理量(うち資源ゴミ)	1,258.5t(73t)
■出生	25人	■建築確認件数	30件
■死亡	38人	■農地転用件数	1件
■結婚	11組		
■転入	56人		
■転出	54人		

1 金	1歳6ヶ月児・3歳児健診 対象:H17 5～6月生 / H15 4～5月生 (神) 献血(角館高校) 健康教室(3B体操 (角))
2 土	
3 日	仙北市文化祭(西木地区)
4 月	母子手帳交付(田) 子ども開放日(角) 献血(角館消防署、今光学機械製作所、アキタセキエレクトロニクス、ワンダーモール)
5 火	乳児相談 対象:H18 4～5月生 / H17 12～H18 1月生 (田)
6 水	なかよし教室(角) 仙北市交通安全市民大会(角館広域交流センター)
7 木	乳児健診 対象:H18 7～8月生 / H18 2～3月生 (田)
8 金	
9 土	
10 日	
11 月	母子手帳交付(角) 歯の健康教室(角)
12 火	2歳6ヶ月児歯科健診 対象:H16 4～5月生 (西)
13 水	予防接種(ポリオ生ワクチン (角) コツ骨教室(田) 歯の健康教室(田) 健康教室(気功体操 (角))
14 木	乳児健診 対象:H18 7～8月生 / H18 2～3月生 (西) コツ骨教室(角)
15 金	2歳6ヶ月児歯科健診 対象:H16 4～5月生 (田)
16 土	
17 日	
18 月	母子手帳交付(西) 子ども開放日(角)
19 火	予防接種(三種混合・BCG (田))
20 水	
21 木	3歳児健診 対象:H15 4～5月生 (角)
22 金	乳児健診 対象:H18 8月生 / H18 3月生 (角)
23 土	
24 日	
25 月	母子手帳交付(角) 予防接種(三種混合・BCG (西))
26 火	予防接種(三種混合・BCG (神))
27 水	予防接種(三種混合・BCG (角) 健康教室(気功体操 (角)) 献血(田沢モーターズ前、田沢の郷、成立田沢湖工場前)
28 木	
29 金	
30 土	
31 日	

【実施場所】(田)...仙北市田沢湖健康増進センター (角)...仙北市健康管理センター
(西)...西木保健センター (神)...仙北市就業改善センター
(松)...松木内地区公民館 (紙)...紙風船館 (西地)...西木地域センター

メンタルヘルス (No.3)

今月は自殺予防についてお話をします。
はじめに、秋田県の自殺の現状は次のようになっています。

- 1 平成17年の自殺者数は447人(前年比5人減)で、2年連続減少しましたが、交通事故死(75人)のおよそ6倍です。
- 2 自殺率(人口10万人対)は39.1(全国平均24.2)で、平成7年から全国一が続いています。
- 3 性別では男性が女性のおよそ2.6倍(男325人、女122人)です。
- 4 年代別では50代が最も多く、次に60代、40代の順となっていますが、全国に比べ60代以上の割合が高くなっています。
- 5 原因別では病苦が最も多く、次に生活経済苦となっています。

自殺の原因では、苦痛と思う気持ちがしらすらすらうちに心に重くのしかかってしまうことがあげられています。本人の心の弱さと勘違いされている面が多々ありますが、決して、心の弱さではありません。自殺の問題は他人事ではなく、自分や家族にも起こるかもしれない、対処できない社会的問題に苦しんだ結果とも言えます。

◆自殺のサインがあった時は、相手を否定しない 接し方をしましょう

「心(精神)の病気」の中でも「うつ症状」がでている方が多いことが報告されています。

次のような兆しが数多くみられる時は、精神科や心療内科など専門の医師に診てもらい、周囲の方の協力をもらいましょう。



- うつ症状が出ている。(10月号参照)
- 原因不明の身体の不調が続いている。
- 酒量が増す。
- 仕事の負担が急に増える、仕事で大きな失敗をする。
- 周囲の人や家族から支援が受けられない。
- 本人にとって価値のあるもの(職、地位、家族、財産など)を失う。
- 重症の身体の病気にかかる。
- 自殺を口にする。
- 自殺未遂に及ぶ。

自殺のサインはいろいろありますが、うつ症状が出ている人は、自殺をはかるケースが多いと言われています。
うつ症状にならないためには、普段からストレスを解消する生活に心がけましょう。

- ① 仕事以外に趣味を持ったり、運動する時間を持つ。
- ② 1日2回は大きな声で笑う。
- ③ 「なんとかかなるさ」とくよくよしない。
- ④ 自分で抱え込まないで、周囲の協力をもらう。
- ⑤ ネガティブ(マイナス)に考えずにポジティブ(プラス)に考える。「いいこと探し」をする。
- ⑥ 休養をとる。

ただいま冬に向けて準備中

紅葉も終わり、吹き付ける風も一段と冷たくなってまいりました。もうすぐ本格的な冬を迎えることとなりますが、仙北市内の各地では冬に備えた準備が着々と進められています。



◆いぶりがっこ

皆さんもご存じ「いぶりがっこ」は、大根を煙で一週間ほどいぶし、皮についたススを丁寧に洗い流してから、ぬか床に漬け込む秋田独特の漬物です。大根の太さによっていぶす時間も変わることから、一本ごとにどれだけいぶすかの見極めも必要となります。いぶすための木は桜が良いとされていますが、手に入りにくいことから相馬さんのお宅ではナラの木を使っているとのこと。

流通の発達した現在では考えられませんが、昔の秋田では冬期間に食べる物の確保が非常に重要でした。一度、



雪が降り積もってしまえば、容易に食材が手に入らなくなるため、保存のきく様々な漬物が作られたのです。

◆火振りかまくら(炭俵編み)

火振りかまくらは旧暦の小正月行事の一つとして、400年以上前から角館で行われる伝統行事です。紐の先に結び付けた炭俵に火をつけて自分の周囲に振り回すことで、田んぼの厄を祓い一年の無病息災を祈願するわけですが、この炭俵の準備は2年前から始まっています。茅を刈り取り、乾燥させる期間に一年。2月13・14日に使用する約5,000俵分を編み込むためにまた一年。熟練の人でも一つの俵を編むには1時間近くかかる、とても手間暇のかかった物なのです。そう考えると、あっという間に燃えてしまうのがもったいないですね。

